PLAN	N】事務事業	の計画	事	務事業	€号	1							所属部	課名 教	育委員会	7年3月27日 会 笠間公民館
				22 4 214 2	<u> </u>	評価	区分		务事業性質		持管理事	業後	期基本	計補		<b>听管省庁</b>
事	务事業名	笠間公	民館施設	管理事業	È	評価	事業		要事務事業			迪	i重点視	点 助	市単独	
ひ でん	政策	5 / Y/ME3	き、豊かな文化	   レた創性。	信才スまた				計画実施計 f規・継続	十曲	継続			独		
			が自ら学び					事	開始年度	F :	終了年度	÷		区 分	補助率	
十 体		1 生涯		, 110, 7 0 7	<u> </u>	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	() ()	業期	<u> </u>				(5) 土 目	•		
斯 系	1 NEVIC		•設備等@		充実			間	S57		年度繰返		住在・ド	係団体		
予	会計	款		項		<u> </u>	14.00		目名		関連計画		14 1.51 44			
算科	一般会計	教育費	社会	教育費	公.	民館費	笠間	公民的	自施設管理事	事業	根拠法令 実施手			24条·公民 ]金の有		び管理に関する条例
目											一部委		刊中	一—	<del>////</del> 5	一 一
【事	務事業の金	全体概要及	及び背 2	【H26事	業計画	(主に担	当者が	行う業	務内容及	び手順		年度目	標】	4【事	業費の	内容(決算額)
	57年に建設		朽化・第	定期的な								2館利月		需用費		14,745千円
	2中、利用者 更に利便性			必要に応	じての個	<b>善</b> 善 表						,000人 自日数		役務費 委託料		79千円 7,475千円
	な点検と必											7日 🕉		安阳州		1,410     1
	修繕を実施															
					H27事	業計画				H28事	業計画			I	H29事業	計画
			同	上				同	1上				同	上		
5 事系		めし壬郎														単位
		りて子权								4	公民館	利用者	数			人
(届	対象 きかける相	王・もの)	公	民館利用	者					対象	- 17 (2.14	47.14	<i></i>			
Ħ	事務事業の		トニュー							指標	クレーム	14-米4-				件
19 (と)	事務事業の, ハのか。どうし	息凶(との。 ハう状態に	1 1-11	民が常に		公民館を利	利用でき	るように	こ施設の	⑤ 成果	70-2	竹子釵				117
の	ð2)		术由	持管理を	1丁り。					指標						
手 (の	目的を達成	ナスため	)ァ <b>生</b>							6	保守点	<u> </u>				旦
段際	目的を達成 に行った行	. 9 るため 政活動(+	たみ  ・空	空間公民館	館の保守	管理,修	繕等を行	亍なう。		活動						
ス)										指標						
	事務事業の															
事業費	及び指標の	の推移									-			,		
	事業費		単位	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年	度(実績)	26年度	長(実績)	27年度	(計画)	28年度	(計画)	29年度(計画
		支出金	千円													
投事	<b>沙区</b>	5出金	千円													
八一来	内	方債	千円													
コ   ス   ス	訳   て	の他	千円													
	一角	2財源	千円		20,857		19,942				00000		22,754	ł	22,754	22,75
F									22,321		22,299					
$\neg$ $\bigsqcup$	事業費		千円		20,857		19,942		22,321		22,299		22,754		22,754	
	職員	割合	千円 人 千円	0.65	20,857 4,875			0.41	22,321	0.410	22,299	0.000	22,754	0.000	22,754	
<ul><li>インプ</li></ul>	職員領時間	割合	千円 人 千円 千円	0.65			19,942	0.41	22,321	0.410	22,299	0.000	22,754			
(インプッ人件票	職員領 時間 嘱託	割合 ]外 臨時	千円 人 千円 千円 千円	0.65			19,942	0.41	22,321	0.410	22,299	0.000	22,754			
<ul><li>インプ</li></ul>	職員領 時間 嘱託 他課の情	割合 ]外 臨時 協力分	千円 人 千円 千円 千円 千円	0.65	4,875		19,942 4,875	0.41	22,321 3,075	0.410	22,299	0.000	22,754	0.000	0	
(インプット) 人件費	職員領 時間 嘱託 他課の 人件費	割合 ]外 臨時 協力分 計(イ)	千円         人       千円         千円       千円         千円       千円	0.65	4,875	0.65	19,942 4,875 4,875	0.41	22,321 3,075 3,075	0.410	22,299 3,075 3,075	0.000	22,754	0.000	0	
(インプット) 人件費	職員 時間 嘱託 他課の 人件費 -タルコスト(	割合 ]外 臨時 協力分 計(イ)	千円         人       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円		4,875 4,875 25,732	0.65	19,942 4,875 4,875 24,817		22,321 3,075 3,075 25,396		22,299 3,075 3,075 3,075 25,374		22,754	0.000	0 22,754	22,75
(インプット) 人件費 ト	職員 時間 嘱託 他課の 人件費 -タルコスト(ご 指標区分	割合 引外 臨時 協力分 計(イ) ア)+(イ)	千円 人 千円 千円 千円 千円 千円 千円		4,875 4,875 25,732 〔(実績)	0.65	19,942 4,875 4,875 24,817 (実績)		22,321 3,075 3,075 25,396 度(実績)		22,299 3,075 3,075 3,075 25,374 E(実績)		22,754 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	0.000	0 0 22,754 (目標)	22,75 29年度(目標
<ul><li>(インプット)</li><li>( 括)</li></ul>	職員 時間 嘱託 他課の 人件費 -タルコスト(	割合 引外 臨時 協力分 計(イ) ア)+(イ)	千円         人       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円		4,875 4,875 25,732	0.65	19,942 4,875 4,875 24,817		22,321 3,075 3,075 25,396		22,299 3,075 3,075 3,075 25,374		22,754	0.000	0 22,754	22,75 29年度(目標
インプット )   活動	職員 時間 嘱託 他課の 人件費 -タルコスト(ご 指標区分	割合 引外 臨時 協力分 計(イ) ア)+(イ)	千円 人 千円 千円 千円 千円 千円 千円		4,875 4,875 25,732 〔(実績)	0.65	19,942 4,875 4,875 24,817 (実績)		22,321 3,075 3,075 25,396 度(実績)		22,299 3,075 3,075 3,075 25,374 E(実績)		22,754 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	0.000	0 0 22,754 (目標)	22,75 29年度(目標
(インプット)   活動指	職員 時間 嘱託 他課の 人件費 -タルコスト(ご 指標区分	割合 引外 臨時 協力分 計(イ) ア)+(イ)	千円 人 千円 千円 千円 千円 千円 千円		4,875 4,875 25,732 〔(実績)	0.65	19,942 4,875 4,875 24,817 (実績)		22,321 3,075 3,075 25,396 度(実績)		22,299 3,075 3,075 3,075 25,374 E(実績)		22,754 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	0.000	0 0 22,754 (目標)	
(インプット)     活動指標	職員領 時間 嘱託師 他課の付 人件費 ータルコスト(ご 指標区分 守点検回数	割合 ]外 臨時 協力分 計(イ) ア)+(イ)	千円 人 千円 千円 千円 千円 千円 単位 回		4,875 4,875 25,732 (実績) 12	24年度	19,942 4,875 4,875 24,817 (実績)		22,321 3,075 3,075 25,396 度(実績)		3,075 3,075 25,374 E(実績)		22,754 ( ( 22,754 f (目標)	28年度	0 0 22,754 E(目標) 12	22,75 29年度(目標 1
(インプット)     活動指標 対       人件費     ト     保     公	職員 時間 嘱託 他課の 人件費 -タルコスト(ご 指標区分	割合 ]外 臨時 協力分 計(イ) ア)+(イ)	千円 人 千円 千円 千円 千円 千円 千円		4,875 4,875 25,732 〔(実績)	24年度	19,942 4,875 4,875 24,817 (実績)		22,321 3,075 3,075 25,396 度(実績)		22,299 3,075 3,075 3,075 25,374 E(実績)		22,754 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	28年度	0 0 22,754 (目標)	22,75 29年度(目標 1
(インプット)     活動指標 対象指       人件費       保	職員領 時間 嘱託師 他課の付 人件費 ータルコスト(ご 指標区分 守点検回数	割合 ]外 臨時 協力分 計(イ) ア)+(イ)	千円 人 千円 千円 千円 千円 千円 単位 回		4,875 4,875 25,732 (実績) 12	24年度	19,942 4,875 4,875 24,817 (実績)		22,321 3,075 3,075 25,396 度(実績)		3,075 3,075 25,374 E(実績)		22,754 ( ( 22,754 f (目標)	28年度	0 0 22,754 E(目標) 12	22,75 29年度(目標 1
(インプット)     活動指標 対象指標       人件費       保     公	職員領 時間 嘱託師 他課の付 人件費 ータルコスト(ご 指標区分 守点検回数	割合 ]外 臨時 協力分 計(イ) ア)+(イ)	千円 人 千円 千円 千円 千円 千円 単位 回		4,875 4,875 25,732 (実績) 12	24年度	19,942 4,875 4,875 24,817 (実績)		22,321 3,075 3,075 25,396 度(実績)		3,075 3,075 25,374 E(実績)		22,754 ( ( 22,754 f (目標)	28年度	0 0 22,754 E(目標) 12	22,75 29年度(目標 1 58,00

社会情勢の変化・市民ニーズの把握							
事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び		(は5年前との比較)・市民からの意見や要望》					
市民が安全・快適に公民館施設を利用できている。							
【CHECK】事務事業の一次評価							
.X.		ら見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》 計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか					
性 評 ☑ 適切である	施設の安全安心な運営	を進めるために、施設維持管理及び環境整備を行った。					
③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比す 有 ④成果の波及効果《全市民, または多くの		ることで今後, 更なる成果向上ができるか?》 があるか?》					
性 図 向上の余地がない	地域における社会教育 化活動の推進施設であ	施設及び文化教養の機関であり、生涯学習の拠点として地域の文る。					
⑤事業費の削減余地《活動量を下げずに 効 ⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人		士様や工法の見直し,市民の協力など)》 プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》					
性評価 別減の余地がない 間減の余地がある	利用者の特性を活かし	利用者の特性を活かした公民館活動。					
一次評価結果	全体総括(振り返り, 反	省点)					
必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地が 有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地が	施設の安全安心な運営	施設の安全安心な運営を進めるために、施設維持管理及び環境整備を行った。					
効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地が	<b>ある</b>						
	フォローアップ 前年度の課題						
①改革・改善案	副前年度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策					
		☑ 影響は大きく、問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる 施設の老朽化が早まってしまい、後々修繕費が増大					
		する。 (⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動					
②改革・改善案を実現する上で克服する	D.取組状況	も含む) ② 他に手段がない					
べき課題と解決方法	5月X社人亿	□ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □ (1 - 175 + 17					
		□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している					

-	TLAN 尹扬尹未	クロ 円		
	総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 施設を適切に維持管理するために現行どおり継続する。
	形公口 6十11川	資源配分	現 状 維 持	

### 実施計画•事務事業評価共通調書 記入日 平成27年3月27日 【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 所属部課名 教育委員会 笠間公民館 事務事業性質 評価区分 義務的事業 補 所管省庁 後期基本計 助 事務事業名 笠間公民館運営事業 重要事務事業 画重点視点 評価事業 市単独 単 総合計画実施計画 狆 政策 5 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり〔教育・文化〕 新規・継続 継続 総 政 区 補助率 小政策 2 だれもが自ら学び、能力を発揮できる環境をつくります 開始年度 終了年度 合 策 分 計 体 施策 生涯学習 期 単年度繰返し 共催者•関係団体 S57 画 系 小施策 2 施設・設備等の活用と充実 間 会計 款 項 細目名 関連計画 予 社会教育費 一般 教育費 公民館費 笠間公民館運営事業 根拠法令 笠間市立公民館の設置及び管理に関する条例第6条 算 科 実施手法 補助金の有無 負担金の有無 目 直覚 【事務事業の全体概要及び背 2 【H26事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3【年度目標】 4 【事業費の内容(決算額)】 ・社会教育法第29条に規定する ・年1回運営審議会を開催,審議委員12名により事業報告, ・有料による使用 報償費 204千円 審議会であり,館長の諮問に応じ 計画等を審議 料 1,200千円 22千円 旅費 ・有料による利用 585千円 公民館における各種の事業の企 ・3館統一した貸館マニュアルの整備 需用費 ・常時、窓口又は、電話による貸館の適宜な判断と受付料金 者 120件 371千円 画実施につき調査審議する。 役務費 徴収業務 202千円 ・窓口または電話による適正な貸 委託料 館の受付,貸出業務と料金徴 •毎月、定期的利用団体の利用調整と周知 使用料及び賃借料 330千円 ・年1回、定期利用団体の登録と利用調整 備品購入費 36千円 収 定期利用団体との利用調整。 H27事業計画 H28事業計画 H29事業計画 同上 同上 同上 事務事業の目的と手段 単位 有料の使用件数 件 (4) ①対象 •公民館利用者 対象 有料の使用料 円 (働きかける相手・もの) •公民館審議会委員 目 指標 無料の使用件数 件 的 ②事務事業の意図(どのようにし 有料の使用件数 件 (5) たいのか。どういう状態にしたい ・適正な施設の貸出と料金徴収を迅速に行う。 成果 有料の使用料 田 ・外部からの意見を今後の公民館運営に反映する。 指標 無料の使用件数 件 有料の使用件数 件 (6) ・電話,窓口で利用内容の確認,仮予約,受付をし時間貸しによる 有料の使用料 ③目的を達成するために実 対応をする。 ・運営審議会を開催する。 審議会委員12名(社会教育関係者・学識経験者等) 活動 段 際に行った行政活動(サービ 無料の使用件数 件 指標

【DO】事務事業の実施

	事業費及び指標の推移											
		事	業費	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	28年度(計画)	29年度(計画)	
			国庫支出金	千円								
投		財	県支出金	千円								
入	事	源内	地方債	千円								
コ	業費	訳	その他	千円								
スト		.,	一般財源	千円				1,750	1,740	1,740	1,740	
_		事	耳業費計(ア)	千円	(	) (	0	1,750	1,740	1,740	1,740	
イ			職員割合	人 千円	0.56 4,200	0.56 4,200	0.75 5,625	0.920 6,900	0.560 4,200	0.560 4,200	0	
ンプ	人件費		時間外	千円								
ッツ			嘱託臨時	千円								
1		他課の協力分		千円								
$\overline{}$		J	、件費計(イ)	千円	4,200	4,200	5,625	6,900	4,200	4,200	0	
	トー	タル	コスト(ア)+(イ)	千円	4,200	4,200	5,625	8,650	5,940	5,940	1,740	
	•	指	票区分	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
活	有制	針の	使用件数	件	123	. 144	99	120	120 120		120	
動	有制	針の	使用料	円	1,309,000	1,184,415	780,000	1,100,000 1,100,00		1,100,000	1,100,000	
指標	無料	針の′	使用件数	件	3,120	3,240	3,130	3,200	3,200	3,200	3,200	
標												
対	有制	針の	使用件数	件	123	. 144	99	120	120	120	120	
象指	有制	針の	使用料	円	1,309,000	1,184,415	780,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	
標	無料	針の	使用件数	件	3,120	3,240	3,130	3,200	3,200	3,200		
成品	有制	針の	使用件数	件	123	. 144	99	120	120	120	120	
果指	有制	針の′	使用料	円	1,309,000	1,184,41	780,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	0 1,100,000	
標	無料	針の′	使用件数	件	3,120	3,240	3,130	3,200	3,200	3,200	3,200	

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

インターネットの普及により、市民が各施設の空き状況を自宅で確認することができ、電話で予約を入れることができるなど利便性を高めることが 期待されている。

L	CHECK	事務事業の	一次評価

	OCTUBE - VEN / PROT. No. 2 2 2 2									
27	①行政関与の必要性《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》									
业 要	②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性《目	目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか								
必要性評	☑ 適切である	各施設の空き状況をインターネット検索により確認することができ利用者が円滑に公民館施								
価	□ 見直しの余地がある	設を利用することができる。								
١.	③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べてど	うであったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》								
有効	④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や	④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他の施策への波及効果があるか?》								
性評	☑ 向上の余地がない									
[価	□ 向上の余地がある	施設の状況を把握でき,また電話でも空き状況を確認して予約することができる。								
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》									
効率	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を	削減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》								
性評	☑ 削減の余地がない	申請に来館しなくてすむため,利便性が非常に大きい。								
価	□ 削減の余地がある									
<b>—</b> ∤	 次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)								
	必要性 □ 適切 □ 見直しの余地がある									
	有効性 □ 適切 □ 見直しの余地がある	いばらき公共施設予約システムの導入により、利用者への利便性を図り、トラブルのない正								
		確な事務執行が行われた。								
	効率性 □ 適切 □ 見直しの余地がある									
[A	CTION】事務事業の改革・改善フォロー	-アップ 前年度の課題や問題点 その他								

I	ACTION'	事務事業の改革・改善
	MOTION.	

MOHON THE WAT	
①改革•改善案	③前年度の改革・改善案
②改革・改善案を実現する上で克服する べき課題と解決方法	<ul><li>④取組状況</li></ul>

⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策

影響は大きく、問題の発生が予想される 代替案や対策を採ることで対応できる

利用者の利便性が損なわれてしまう。

⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)

他に手段がない

他に手段がある(事務事業名・活動名)

名称

他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる 統廃合や連携はできない・既に連携している

総合評価	今後の方向性		評価理由 いばらき公共施設予約システムの導入により、利用者への利便性を図り、トラブルのない正確な事務執行が行われた。
松公古計1川	資源配分	現 状 維 持	

## 実施計画・事務事業評価共通調書 記入日 平成27年3月27日 【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 所属部課名 教育委員会 笠間公民館 事務事業性質 評価区分 政策的事業 後期基本計 所管省庁 市民展覧会・公民館まつり事業 助 事務事業名 重要事務事業 画重点視点 (笠間) 評価事業 市単独 単 総合計画実施計画 独 5 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり〔教育・文化〕 政策 新規・継続 継続 総 政 区 補助率 小政策 3 個性と創造性豊かな笠間の文化を広げていきます 開始年度 終了年度 合 策 分 計 体 施策 2 芸術・文化 期 単年度繰返し 共催者•関係団体 S50·H21 画 系 小施策 2 芸術・文化事業の推進 間 会計 款 項 目 細目名 関連計画 予 社会教育費 社会教育法第22条・笠間市民展覧会(公募) 開催要項及び出品規定 ·般会計 教育費 公民館費 市民展・公民館まつり事業(笠間) 根拠法令 算 科 実施手法 補助金の有無 負担金の有無 目 直営 4【事業費の内容(決算額)】 3【年度目標】 【事務事業の全体概要及び背 2 【H26事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 【市民展覧会】 6部門 作品点数176点 市民展覧会は,多くの芸術創 市民の作品を広く公募し、発表や鑑賞のできる機会を設け、 補助金 676千円 作を試みる市民から作品を公募 芸術文化の振興を図る。 役務費 9千円 【公民館まつり】 し,広く市民が芸術を鑑賞できる 開催日数 5日間 展示発表部門 30団体 機会を設けるものである。 芸能発表部門作品点数 公民館まつりは,公民館を利用 897占 する各団体で取得した技術の成 果と発表の場を設け, 市民相互 の交流を通して文化交流を目的 H27事業計画 H28事業計画 H29事業計画 としている。 同上 同上 同上

5	事務事業の目的と手段				単位
目	①対象 (働きかける相手・もの)	一般市民	対象	参加団体数(公民館まつり) 作品点数(公民館まつり) 作品点数(市民展覧会)	件 点 点
的	たいのか どういう状能にしたい	市民の作品を鑑賞できる機会を設け、芸術振興を図る。	成果	参加団体数(公民館まつり) 作品点数(公民館まつり) 作品点数(市民展覧会)	件 点 点
	: ③目的を達成するために実 際に行った行政活動(サービス)	市民に作品の公募をし、設定した開催期間で多くの作品を発表をする。	⑥ <b>汗</b> 動	参加団体数(公民館まつり) 作品点数(公民館まつり) 作品点数(市民展覧会)	件 点 点

事	事業費及び指標の推移																	
		事	業費	単位	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(実績)	26年度	(実績)	27年度	(計画)	28年度	(計画)	29年度(	(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財	県支出金	千円														
入	事業	源内	地方債	千円														
コ	老費	訳	その他	千円														
スト			一般財源	千円	695			676		676		685		685		685		685
_		事	事業費計(ア)	千円		695		676		676		685		685		685		685
イン			職員割合	人 千円	0.57	4,275	0.57	4,275	0.29	2,138	0.285	2,138	0.570	4,275	0.570	4,275		0
ププ	人		時間外	千円														
ッ	件費		嘱託臨時	千円														
1				千円														
		L	、件費計(イ)	千円		4,275		4,275		2,138		2,138		4,275		4,275		0
	トー	トータルコスト(ア)+(イ)		千円		4,970		4,951		2,814		2,823		4,960		4,960		685
			漂区分	単位	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度	
活			数(公民館まつり)	件		35		38		36		35		35		35		35
27.5			枚(公民館まつり)	点		1,008		991		987		1,000		1,000		1,000		1,000
指標	作品	品点数	数(市民展覧会)	点		182		188		170		180		180		180		180
対象	_		数(公民館まつり)	件		35		38		36		35		35		35		35
象指			枚(公民館まつり)	点		1,008		991		987		1,000		1,000		1,000		1,000
標出			数(市民展覧会)	点		182		188		170		180		180				
成果	<u> </u>		数(公民館まつり)	件		35		38		36		35		35		35		35
指			枚(公民館まつり)	点		1,008		991		987		1,000		1,000		1,000		1,000
標	作品	占点数	数(市民展覧会)	点		182		188		170		180		180		180		180

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 公民館を利用する各団体が習得した技術成果を発表し、市民相互の交流を通して文化交流を図る機会としてふさわしい。

	_		
ı	CLIECK	事務事業の	/ / 一 / 正 / 正 / 正
1		<del>                                    </del>	— {/人 <del>  十</del> /

7/	①行政関与の必要性《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》									
业 要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目	的(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか								
必要性評	☑ 適切である	地域の文化向上、特性を活かした地域活動を発揮するためにも実施は必要である。								
価	□ 見直しの余地がある	FA、ALIPIA, PAREIGN OTOENAGMENTAL MENTEUXMENTAL COM								
	③成果の向上余地《成果は, 昨年度と比べてど	うであったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》								
有効	④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や	也の施策への波及効果があるか?》								
性評	☑ 向上の余地がない	・年間の団体活動の芸能,作品,展示等の発表の場を提供できる。								
価	□ 向上の余地がある									
사	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》									
効率	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を	削減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》								
性評	☑ 削減の余地がない	クルのナロルロンローコルベクノのナロン関帯できて								
価	□ 削減の余地がある	多数の市民作品が展示可能で多くの市民が鑑賞できる。								
<b>—</b> ∤	· 次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)								
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある									
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	一年間の団体活動の芸能, 作品, 展示等の発表の場を提供し, 地域文化の向上の成果を 多くの市民に伝えるとともに公民館定期講座, 自主サークル等の参加を促せた。								
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある									

フォローアップ 前年度の課題や問題点

【ACTION】 重終重業の改革・改	笙

①改革・改善案	③前年度の改革・改善案
②改革・改善案を実現する上で克服する べき課題と解決方法	④取組状況

# その他

⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策

影響は大きく、問題の発生が予想される 代替案や対策を採ることで対応できる

市民の生涯学習の機会を失うことになる。

⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)

他に手段がない

他に手段がある(事務事業名・活動名)

名称

他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる 統廃合や連携はできない・既に連携している

総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 地域文化の向上,文化活動を促進するために現行どおり継続する。
₩公口 計1川	資源配分	現 状 維 持	

実	実施計画•事務事業評価共通調書 記入日 平成27年3月27日											□ 07 □						
ľD	LANI	]事務事業(	の計画	事務事業者	E 旦.	4								に八口 属部課名	7 ±4r:			727日 E間公民館
IP	LAN	尹伤尹未	//	尹扬尹禾旬	百万	<u>4</u>   評価区分	7	車	務事業性質	近	<b>美</b> 教	的事業		基本計	補			省庁
	事務事業名 公民館講座運			至運営事業(笠属	捐)	日岡区ノ	//		要事務事業		7文17、	<del>一</del>		基本司 点視点	助		<b>月日</b>	日/1
	<b>3</b> F47	7 千木石		(上)	FJ/	評価事業	美 :	総合計画実施計					四至	VIV DRVIV	単	市単独		
4/2	政	政策	5 人が輝き 豊	かな文化を創造・発	信するまた	づくり〔教育・☆		新規・継続			Ý.	継続			- 独			
応 合		小政策		自ら学び、能力を発				事	開始年度	F	終了年度				区分	補助率		
計	体	施策	1 生涯学		11+ CC 0	75K9LC - (7	0 ( )	業	業		-							
	系	小施策		ョ 報及び学習機会	シの提供			期間				単年度繰返し共作		共催者·関係団体				
	予	会計	款	項	3171/21/	<u>、</u>			細目名		型;	車計画						
	算	一般会計	教育費	社会教育費	公	 民館費	公民館		座運営事業(笠	問)		<u>- 出 日</u> 処法令	社会教	女育法領	₹20 <i>€</i>	条, 同法	22	<u> </u>
	科	724-461	21177			- 4-1-2						<b>E施手法</b>		補助金				金の有無
	目											直営		_	_	,,,,		_
1	【事	务事業の全	体概要及び	背 2 【H26事	業計画	(主に担当る	者が行	子う美	業務内容及	び手	順)	3【年	度目標	] 4	【事	業費の	内容	(決算額)
			上,健康增进			学習機会の			1100		, , , ,	11講座	,開催	回報	貸費	,		370千円
			・種講座を開		、サマー	-スクール、	サタラ	デー	まなBe~等	至		数			費			60千円
			興に寄与する	3									参加人		用費		## . fa.f	97千円
2	ことを目的とする。											1,245)		使	用料	及び賃	借料	5千円
					H27事	業計画				H28	事業	計画			I	H29事業	計画	i
				同上						同上								
5	事務	事業の目的	りと手段									· · · · · ·				<u> </u>		単位
	(I) \$	対象								4		座数					]	講座
		きかける相手	手・もの)	笠間市在住	•在勤者	•				対針		催数(延						回
目										指		加延べん	人数					
山山			(図(どのよう) う状態にした	1、  甲氏に塚々		幾会を提供し	、知諳	我の[	向上、健康	⑤ 成		極数 開催数(延	~")					講座
	のカ		ノルはにした	増進、生活	文化の振	興を図る。				脱り指		加延べん						凹 人
											<b>±</b> ±	上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上	V 25/A					講座
			するために乳			多岐にわたる	る講座	を分	と画し、講	⑥ 活動		催数(延	べ)					口
段	際	こ行った行政	汝活動(サー	・ビ 師との調整を	をしなが	ら実施する。				指	- シ	対延べ)						人

_	DO】事務事業の実施												
事	業費	及び	が指標の推移										
		事	業費	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	28年度(計画)	29年度(計画)		
			国庫支出金	千円									
投		財県支出金		千円									
入	事業	源内	地方債	千円									
コ	書	訳	その他	千円									
スト			一般財源	千円	580	591	354	532	828	828	828		
_		事業費計(ア)		千円	580	591	354	532	828	828	828		
1			職員割合	人 千円	0.65 4,875	0.65 4,875	0.31 2,288	0.535 4,013	0.650 4,875	0.650 4,875	0		
プ	人		時間外	千円	•			·	·				
ッ	件	嘱託臨時		千円									
1	費	他	1課の協力分	千円									
)		人	、件費計(イ)	千円	4,875	4,875	2,288	4,013	4,875	4,875	0		
	<b>١</b>	タル	コスト(ア)+(イ)	千円	5,455	5,466	2,642	4,545	5,703	5,703	828		
		指相	票区分	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
活	講点	<b>室数</b>		講座	14	17	11	11	11	11	11		
動	開作	崔数	(延べ)	回	71	80	52	56	56	56	56		
指	参加	加延-	べ人数	人	947	1,247	937	1,245	1,245	1,245	1,245		
標													
対	講点	<b>室数</b>		講座	14	17	11	11	11	11	11		
象指	開作	崔数	(延べ)	口	71	80	52	56	56	56	56		
標	参加	加延-	べ人数	人	947	1,247	937	1,245	1,245	1,245	1,245		
成	講児	<b>室数</b>		講座	14	17	11	11	11	11	11		
果指	開作	崔数	(延べ)	回	71	80	52	56	56	56	56		
標	参加延べ人数		人	947	1,247	937	1,245	1,245	1,245	1,245			

社会	社会情勢の変化・市民ニーズの把握 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》								
	民の方々の生涯学習の機会の場として民間によ								
[C]	HECK】事務事業の一次評価								
①行政関与の必要性《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?									
必要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性	《目的(対象と意図)は総合計画と結	びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか						
女性評価	<ul><li>☑ 適切である</li><li>□ 見直しの余地がある</li></ul>		地域のだれもがいつでも学ぶことができるよう市民対象, 市在勤者対象の各種講座開設に よる学習機会の提供及び生涯学習の提供。						
	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べて	こどうであったか?工夫をすることで今	後、更なる成果向上ができるか?》						
有効	④成果の波及効果《全市民, または多くの市民								
性評価	<ul><li>☑ 向上の余地がない</li><li>□ 向上の余地がある</li></ul>	学習を通しての学習意欲の向上に	により文化を向上させ地域にも学習効果を還元する。						
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事	── 業費を削減できないか?(仕様や工注	去の見直し、市民の協力など)》						
効			見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》						
率性評価	<ul><li>☑ 削減の余地がない</li><li>□ 削減の余地がある</li></ul>		市内全域から各種講座参加希望がある。						
<b>—</b> ∤	欠評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)							
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある 有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある 効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	公民館講座に多数の市民の方々 場としての意義を果たした。	公民館講座に多数の市民の方々に積極的に参加活動していただくことにより生涯学習の場としての意義を果たした。						
[A	CTION】事務事業の改革・改善フォ	ローアップ 前年度の課題や問題点	その他						
()¢	次革・改善案 ③前 の本・改善案	対年度の改革・改善案	(⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 影響は大きく、問題の発生が予想される 代替案や対策を採ることで対応できる 市民を対象とした生涯学習の機会が失われてしまう。 (⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む) 他に手段がない 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる 統廃合や連携はできない・既に連携している						

PI AN'	事務事業の計画
LELAIN.	世份 世表り   回

<b>公</b> 公亚在	今後の方向性	3 - 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	評価理由 社会教育法第22条の公民館事業とした実施する。多種多様な講座を開設することにより,生涯学習の場を提供し地域文化の向上に寄与するた
総合評価	資源配分	現状維持	めに現行どおり継続する。

PLA	N】事	務事業	の計画		事	<b>务事業</b> 都	<b>等号</b>	5										記入			7年3月2 会 笠間	
								評価	区分			業性質		維持	寺管理.	事業		基本	計補	ì	所管省户	
事	務事	<b>業名</b>	地区公	民館	施設管	<b>萨理事業</b>		評価	事業			「務事) 「実施計					画重	点視	点単			
8 政	r ī	政策	5 人が輝	ききか	が文化	を創造・発	信するまち	づくり「数	育・文化〕			·継続			継続				独			
ごま		政策	2 だれŧ							事		始年度		糸	冬了年月	变			区 分		\$	
十 体		施策		学習						業期				単年	F度繰:	返し	共催	者•뭩	係団体	ī.		
可采	. 1	施策 会計	2 施設款	と・設備		活用とす 頁	艺実	目		間	細目	b			  連計		<b>У ( )</b> Д	п и	701.11			
予算		云町 股会計	教育	<b>小</b>		<del>貝</del> 育事業	公	民館費	地区			石 設管理	事業		を 良拠法々		社会教育	育法第2	3条第3項・	公民館設置	及び管理に関	関する条例
科			201172			.13 3 2/4		- 4200						- 1-	実施引	F法		補助	金の有	無	負担金の	有無
目	-74-I	۸ م کالد:	/ L. Louit and	T ~ 13 d	II- I		.II. → I	/ > \ 1=	11. 14. 15	· >	.u. →/ .			a 1.1	直包		A 11 12	or 1		* All 4 #		hohe stare\
			体概要が			【H26事 区公民				仃り	業務[	<b>内容及</b>	びす	-順)	) ] 3	【牛月	度目標	景】	4 【事 需用費		内容(決 4,521 <sup>日</sup>	
は, 光	熱水	費などの	の義務的	的経費		理的設				É									役務輩	ŧ	1,709=	戶円
修修	善の費	用がか	かってく	べる。															委託米		529= :/無楽!	千円
																			使用作	4及び賃	1985	千円
																			原材料	斗費	40=	
							H27事	業計画					H28	ュ	業計画					H29事業	(計画)	
					同_	Ŀ	1121 -	<u> </u>			同上		1120	7 7 7	<u> 不田四</u>			同		1123 7 7	ZH1 PA	
事	務事	業の目的	内と手段		ļ																	単位
	<u>対象</u>		70 7 151										4		公民館	利用	者数					人
	(働きかける相手・もの) 地区公					区公民館	利用者						対領指									
	事務	事業の意	(どの	ように	Lane	日本など出	)~計 (本)	· TIPICA V	日紀ナエ	11 ====	スセフ	L.S.	1 <u>11</u>		クレー	ム件数	数					件
た	いのカ	。どうV	う状態に	したい	、   <b></b>	用者が常 施設の約			氏語を不	IJ用(	Cさる.	より	成	果								
(/)	カュ)												指		修繕賃	丽					1	箇所
			するため			区公民館	の保守管	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>善</b>	施す	-ス.		⑥ 活!	ソ		1/21						4//
发際ス		った行	攻活動(	サーヒ	-		114 3 1	1·11/	1,00		Φ0		指									
		事業の	実施																		<u> </u>	
		が指標の																				
	事	業費		単	位	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年	F度(	実績)	26年	F度	(実績)	27年	三度(	計画)	28年度	度(計画)	29年度	(計画
		国庫	支出金	千	-円																	
安	財	県支	出金	千	·円																	
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	源内	地	方債	千	-円																	
ュ   耒   貫	訳	その	の他	千	·円																	
			財源	千	円		5,943		6,566			6,554			6,997		(	6,985		6,985		6,98
<u> </u>	事	手業費割			-円		5,943		6,566			6,554			6,997			6,985	_	6,985		6,98
<b>1</b>		職員害			千円	0.75	5,625	0.75	5,625	0.4	44	3,300	0.44	40	3,300	0.7	50	5,625	0.750	5,625		
プ   人		時間			-円																	
ッ件ト費	,	嘱託蹈			·円																	
ト   <sup>須</sup> ン	10	1課の協			·H																	
,		、件費記			·H		5,625		5,625			3,300			3,300	1		5,625		5,625		6.00
١,		票区分	(イ)		·円 <u></u> 位		11,568	24年度	12,191	9F.		9,854 実績)	9.C. /I		10,297		三度(	2,610		12,610 (目標)	29年度	6,98
個	新				·ဃ i所	23年度	(	24年度	(	∠5 <sup>±</sup>	予及し	<del>夫</del> 傾) 6	204	户及	(実績) 10	_	→及し	日 <i>保)</i> 10		10		.(日保 1
¤ ├─	- 作 固	וטו		直	ולזו		0		9			0			10			10		10		1
動 旨																						
票																						
寸 公	早館	利用者	数		<u> </u>		46,416		46,631		5	3,103			46,500	1	41	6,500		46,500	-	4,65
泉   上	- VAD	1.3713.日	<i>&gt;</i> ^				10,110		10,001			5,100			10,000	1	-10	.,000		10,000		1,00
三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三																						
戊ク	レール	件数		1/2	牛		5		5			6			5			5		5		
果上	. 4	11 %		-	1		<u> </u>		- 0			- 0	<u> </u>			1		U	1	U	1	

1	生生	☆情勢の変化・市民ニーズの把握									
		8事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会	環境の変化(開始時期又は5年前との	)比較)・市民からの意見や要望》							
f	地区	区住民が安全・快適に公民館施設を利用できる。									
٦	CF	HECK】事務事業の一次評価									
Ī	\ <u>'</u>	①行政関与の必要性《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》									
	必要.	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか									
l	性評価	<ul><li>☑ 適切である</li><li>□ 見直しの余地がある</li></ul>	施設の安全安心な運営を進めるために施設維持管理及び環境整備を行った。								
		③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてど	」 うであったか <b>?</b> 工夫をすることで今後。	,更なる成果向上ができるか?》							
	有 効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や	や他の施策への波及効果があるか?》								
i	性評価	☑ 向上の余地がない	地域における社会教育施設及び文化教養の機関であり生涯学習の拠点として地域の文化活動の推進施設である。								
	Щ	□ 向上の余地がある	THE STATE OF THE S								
	効率										
,	学性評価 -	<ul><li>□ 削減の余地がない</li><li>□ 削減の余地がある</li></ul>	利用者の特性を生かした公民館活動。								
	一世	マ評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)								
		必要性 □ 適切 □ 見直しの余地がある									
		有効性 □ 適切 □ 見直しの余地がある	施設の安全安心な運営を進めるため	りに施設維持管理及び環境整備を行った。							
		効率性 □ 適切 □ 見直しの余地がある									
<u>-</u>	Ά	CTION】事務事業の改革・改善フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他							
(	Dţ	文革·改善案 ③前年	度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策							
				影響は大きく, 問題の発生が予想される 代替案や対策を採ることで対応できる							
				施設の老朽化が早まってしまい、後々修繕費が増大する。							

# | (国のでは、1) 日本 (日本) (国際のでは、1) 日本 (国際のでは、1) 日本 (日本) (国際のでは、1) 日本 (国際のでは

【PLAN】事務事業(	【PLAN】事務事業の計画										
総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 施設を適切に維持管理するために現行どおり継続する。								
松公口 計刊山	資源配分	現 状 維 持									

実施	計画•事	<b>务事業</b>	評価共	<b>通調書</b>	•									記入	Ħ		平成27	年3月2	7 Fl
[PLAN	】事務事業	の計 <u>画</u>	事	務事業番	≨号	6								所属部			育委員会		
						評価区分	i)	事	事務事業性!	質	政策的	内事業	後	類基本		補		听管省厅	
事務	务事業名	地区公	民館運営事	<b>手業</b>		評価事業	£		要事務事		-	_	迪	重点視	点	助	市単独		
						計៕事業	F	総合	合計画実施語	計画		)				単独	川早畑		
総政	政策	5 人が輝	き、豊かな文化	を創造・発	信するまち	っづくり〔教育・文	(化)		新規·継続		継	続					補助率		
合 策	小政策			,能力を発	を揮できる	る環境をつくりる	ます	事業	開始年月	隻	終了	年度				分	冊切平		
計体	施策		[学習					兼期			単年度	:細:压]	<del>  </del> :/	催者・関	核日	1休			
画 系	小施策		と・設備等の		艺実			間					/ /		INIC	1144			
予	会計	款		項		<b>I</b>			細目名			計画							
算	一般会計	教育		教育費		民館費			民館運営事			法令							
科						館連絡協議会	2002 3 12. 113.70					無 負	負担金の	)有無_					
目												直営		— — — — — — — — — — — — — — — — — — —				_	tota tank
	務事業の全 50年前後の					主に担当者画的利用や				なび手	4順)	3 【年		標】	4 和		業費のア	内容(決 ,080千F	
助による の社会 市に12	5土地利用や土地改良事業の補・地区のイベントや伝統行事の承継・当 助による施設整備により、当地区 対社会教育の拠点として旧笠間 特に12施設が設置されている。 それらの充実した運営を図る。								にユーナイ	古期(	7元美				報旅需役使	骨費	1	,166千月 24千月 ,180千月 127千月 借料 155千月	円 円
					業計画 H28事業計画 同上						- i曲i			l	Н	129事業		_1	
5 事彩	事業の目的	的と手段																	単位
① i	対象きかける相	手・もの)	地[	区公民館	利用者					4 対 指	象 事		者数	(全館)					回 人
	事務事業の意 いのか。どうし い)			区公民館	による年	間事業を実力	施す	る。		(5) 成: 指	果事		者数	(全館)					人
手 ③目的を達成するために実 12地区の地区公民 際に行った行政活動(サービ それぞれ講座やス)									に基づき、	⑥ 活! 指	動事	業回数 業参加		<u>(</u> 全館)					<u>回</u> 人
	事務事業の	実施																<u> </u>	
	及び指標の																		
事業費 単位 23年度(実績) 24年					94年度(宝	(書)	25左	F 庄 ( 宝 繣 )	26月	E度(実	<b>続)</b> 97	7年由	(計画)	90左	上中	(計皿)	20年度	(計皿)	
		+111.4		20十段	(大順)	27十戊(天)	/ 川貝/	40±	下区(天限)	204	一尺 (天	/1貝/ 乙	十段	(田四)	201	广汶	「田田ノ	23十段	(田岡)
		支出金	千円							<b>!</b>									
投事	沙石	出金	千円																
入事	地 地	地方債  千円								I							ļ		

事	事業費及び指標の推移 事業費 単位 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(計画) 28年度(計画) 29年度(計画)																	
		事	<b>工業費</b>	単位	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(実績)	26年度	(実績)	27年度	(計画)	28年度	(計画)	29年度	(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財	県支出金	千円														
入	事業	源内	地方債	千円														
コ	来 費	訳	その他	千円														
スト			一般財源	千円		2,621		2,337		2,073		3,732		3,738		3,738		3,738
_		事	耳業費計(ア)	千円		2,621		2,337		2,073		3,732		3,738		3,738		3,738
1			職員割合	人 千円	0.20	1,500	0.20	1,500	0.26	1,950	0.260	1,950	0.200	1,500	0.200	1,500		0
ンプ	/4. nB = < rb n±		千円		•													
ッ	件 嘱託臨時 費 他課の協力分		嘱託臨時	千円														
卜	費			千円														
)		人件費計(イ)		千円				1,500		1,950		1,950		1,500				0
	トー	タル	コスト(ア)+(イ)	千円		4,121		3,837		4,023		5,682		5,238		5,238		3,738
		指标	標区分	単位	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(実績)	26年度	(実績)	27年度	(目標)	28年度	(目標)	29年度	(目標)
活	事	美回	数(全館)	口		3,349		3,464		3,332		3,460		3,460		3,460		3,460
動	事	美参.	加者数(全館)	人		46,416		46,631		53,103		46,600		46,600		46,600		46,600
指揮																		
標																		
対	事	美回	数(全館)	口		3,349		3,464		3,332		3,460		3,460		3,460		3,460
象指	事美	美参.	加者数(全館)	人		46,416		46,631		53,103		46,600		46,600		46,600		46,600
標																		
成			数(全館)	□		3,349		3,464		3,332		3,460		3,460		3,460		3,460
果指	事業参加者数(全館)		人		46,416		46,631		53,103		46,600		46,600		46,600		46,600	
標																		

<u>社</u>	社会情勢の変化・市民ニーズの把握										
事	務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会	環境の変化(開始時期又は5年前と	の比較)・市民からの意見や要望》								
[(	HECK】事務事業の一次評価										
必要			のか?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》 がついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか								
4性評価	<ul><li>☑ 適切である</li><li>□ 見直しの余地がある</li></ul>	地域コミュニティーの希薄化等地図る。	区公民館の果たす役割は高く身近な生涯学習の場であ								
有效	③成果の向上余地《成果は,昨年度と比べてと ④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や										
A性評価	<ul><li>☑ 向上の余地がない</li><li>□ 向上の余地がある</li></ul>	幅広い地域づくりの推進や趣味や特技を活かすための交流の場として有効である。									
⑤事業費の削減余地《活動量を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》 効 ⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削減できないか?(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や											
性評価	<ul><li>☑ 削減の余地がない</li><li>□ 削減の余地がある</li></ul>	地区公民館館長・主事会議を通しる。	て意見の交換等を行い充実した運営を図ることができ								
_	y評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)									
	<ul><li>必要性</li><li>✓ 適切</li><li>一見直しの余地がある</li><li>有効性</li><li>✓ 適切</li><li>一見直しの余地がある</li><li>効率性</li><li>✓ 適切</li><li>一見直しの余地がある</li></ul>	地区公民館の館長及び主事の方	々の意見を今後の公民館運営に反映することができる。								
ľΔ	CTION】事務事業の改革・改善フォロ	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他								
		ド度の改革·改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 影響は大きく,問題の発生が予想される 代替案や対策を採ることで対応できる								
			生涯学習事業の機会が縮小されてしまう。 ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動 も含む)								
	牧革・改善案を実現する上で克服する ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1状況	他に手段がない 他に手段がある(事務事業名・活動名)								

-				
	総合評価	今後の方向性	3 = 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	評価理由 社会教育法に基づく事業をそれぞれに展開,地域住民交流に有効,特に地域のコミュニケーションの拠点としてその活動が重要なものであり現
	がひ 口 6十11川	資源配分	現 状 維 持	行どおり継続する。

名称

他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる 統廃合や連携はできない・既に連携している

実	施	計画•事系	<b>条事業</b> 評	価共通調書												h		
						7							=	記入日	5 #4			月27日 - 間公民館
IPI	_AN	事務事業の	の計画	事務事業都	1万		'\	車	務事業性質	f	<b>小空</b> 台	的事業		用馬部森 用基本計			五 立 所管	
	車数	等業名	各種団体支	· 怪車 类		計画区)	/J		·		以水口	1) 尹未		用基平司 直点視点				目 / 1
	<b>3</b> 11/3	7 世末4	11個四件又	1反ず未		評価事業	<b>美</b>		女子····································		(	$\overline{\mathcal{C}}$	四生	3/11/10/11	単	市単独	Í	
4/2	政	政策	5 人が輝き 曹	かな文化を創造・発	信するまた	づくり「教育・て			新規・継続	EE		<u></u> 送続			— 独			
合	策			ら学び,能力を発				事	開始年度	=		年度			区分	補助率	3	
計	体	施策	1 生涯学習		114 60.9	79K9E2 2 (7		業	M1120 T/X						-			
	系	小施策		ョ 吸及び学習機 <i>会</i>	の提供			期間			単年度	[繰返し	共催	者・関係	団体			
	<u>,</u>	会計	款	項	Y JACIA	<u>`</u>			細目名		関連	計画						
	, 草	一般会計	教育費	社会教育費	公	民館費	<b>笠間</b>		民館運営事	業		法令						
	斗	70.12.11.1	0.114.21					•		,,,,		施手法		補助金	の有	無	負担金	をの有無
	1											直営		_				_
1	事	8事業の全	体概要及び	背 2 【H26事	業計画	(主に担当る	者が行	すう 津	業務内容及	び手		3 【年	度目標	票】 4	【事	業費の	内容(	(決算額)】
• 拙	域に	こおいて女性	生が生涯学習	習・10地区で					級年5~10回			開催回	数 70		设貨費	ţ		204千円
			ように女性									参加人	数 2		で費			22千円
			十画的·継続						及び作品原			人					借料	200千円
			を提供し、幅						品展,文化社					神	前助金	È		152千円
			, 会員相互の				ミ(兵庫	車児	具赤穂市)作	品展	長及び							
		規睦を図る。	と各文化団体	人的交流等 本 •年1回1月		にいる。												
			広く地域のご		H27事	業計画				H28	事業計	- - - - - - - -			1	H29事	<b>と計画</b>	İ
			と事業活動を		115, 4	NH E			同上	1120	7///	1 124		同上		120 7	C # 1 #	1
行	5。																	
			東習成果の発															
			供することに															
			棋の発展を															
			豊かな生活															
			量がな生活 識を高揚す	×														
る。	- 1111	<b>グッた</b> III 心	HHM C [H] 1300 )															
5	事務	事業の目的	りと手段	-														単位
	U 4	対象		•10地区女性						4		崔回数						口
		ョゑ きかける相=	£•\$(D)	•文化連盟名						対象		加延べん	人数					人
目	.,					子者及び一角				指標								
的			図(どのよう)		題解決	のための必要	要な知	I識り	や技術を習	5		崔回数	1 787					口
	にいのか		う状態にした		ド催の各	種事業を実	施する	5		成身 指標		加延べん	人数					人
	//	,				- 11./b= - 1					BB /	崔回数						口
手	(3)	目的を達成さ	するために実	・各女性学			a + 1	TT -2-	A-16.7	6	<i>±</i>	<sub>年四数</sub> 加延べ)	人数					
			女活動(サー	、、   ・	と付及び 七会をL	事務調整等 H25.1月に開	の文技	友を く	行なり。	活動		···/~/	- 2/1					
	ス)		,	四番。付供	八云と「	140.1万 (に)刑	催りる	ەرىد		指標	示							
(D	O ]	務事業の	実施															

	事業費及び指標の推移																	
		事	業費	単位	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(実績)	26年度	(実績)	27年度	(計画)	28年度	(計画)	29年度(	計画)
			国庫支出金	千円														
投		財	県支出金	千円														
入	事業	源内	地方債	千円														
コ	老費	訳	その他	千円														
スト			一般財源	千円				440		623		578		578		578		578
·		事業費計(ア) 職員割合		千円		0		440		623		578		578		578		578
イ	/ I		職員割合	人 千円	0.03	225	0.03	225	0.02	150	0.265	1,988	0.030	225	0.030	225		0
ププ	人		時間外	千円														
ッ	, 件 嘱託臨時			千円														
7	費	他	1課の協力分	千円														
)		J	、件費計(イ)	千円		225		225		150		1,988		225		225		0
	トー	タル	コスト(ア)+(イ)	千円		225		665		773		2,566		803		803		578
		指	票区分	単位	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(実績)	26年度	(実績)	27年度	(目標)	28年度	(目標)	29年度(	目標)
活	_	崖回		回		72		76		103		70		70		70		70
動	参加	<b>加延</b>	べ人数	人		1,040		1,150		1,933		2,000		2,000		2,000		2,000
指標																		
対	開作	崖回	数	回		72		76		103		70		70		70		70
象指	参加	加延	べ人数	人		1,040		1,150		1,933		2,000		2,000		2,000		2,000
標																		
成田	_	崖回		回		72		76		103		70		70		70		70
果指	参加	加延	べ人数	人		1,040		1,150		1,933		2,000		2,000		2,000		2,000
標																		

社会情勢の変化・市民ニーズの把握										
	環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》									
【CHECK】事務事業の一次評価 ①行政関与の必要性《目的達成に向けて、行	政の範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》									
女	目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか									
性 ip ② 適切である	当活動を通じて情報交換や地域に潜在する課題を解決する等必要な学習活動である。									
③成果の向上余地《成果は, 昨年度と比べてと 有効 ④成果の波及効果《全市民, または多くの市民。	どうであったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》 や他の施策への波及効果があるか?》									
性評価 □ 向上の余地がない	各地区の女性学級それぞれに積極的事業が展開され充実した学習活動が図られている。									
効 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費	費を削減できないか?(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》を削減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》									
性 ip	各地区公民館女性会員が幅広い知識を習得し会員の親睦が図られる。									
一次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)									
必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある										
有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある										
効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある										
	ーアップ 前年度の課題や問題点 その他									
①改革・改善案	手度の改革・改善案 の有無とその対策									
	影響は大きく, 問題の発生が予想される 代替案や対策を採ることで対応できる									
	女性自ら企画した生涯学習事業の機会が失われてしまう。									
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)									
②改革・改善案を実現する上で克服するべき課題と解決方法	他に手段がない 他に手段がある(事務事業名・活動名)									
	名称 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる 統廃合や連携はできない・既に連携している									

総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 女性自らの企画運営により生涯学習教室を展開しており、男女共同参 画の推進や積極的な地域女性活動の重要性から現行どおり継続する。
	資源配分	現 状 維 持	

実	施計画•事務事業評価共通調書 記入日 平成27年3月27日																			
[PI	LA <u>N</u>	】事務事業	の計画	<u> </u>	事務事業都	番号	8											会 笠間公民館		
							評価区分	7		<b>F務事業性</b>		維持	管理马		期基本	計補	Ì ;	所管省庁		
	事務	等事業名	地区公	:民館施設	整備事業		評価事業	色		要事務事				迪	i重点視	点単				
4/1	πHr	政策	5 人が粗	ぼき 豊かか文	化を創告・発	信すスすち	づくり〔教育・文			合計画実施記 新規・継続			継続			<u></u>	.			
給 合	政策	小政策					環境をつくり		事	開始年月			了年月	É		区 分				
計	体	施策	1 生涯	<b>E</b> 学習					業期	H26			度繰		催者・関	1.7				
<u> </u>	系	小施策		设•設備等	の活用とす	艺実			間						住石・渕		2			
		会計	教育	曲。九八	項 :教育費		<u>目</u> 民館費	Lile lea		細目名 R館施設整備	中米		連計画							
多		一般会計	教用:	貫 仁工	: 教月賃	公.	<b>戊</b>	地区	7.ZE	戊	尹未		:拠法令 実施手		補助	金の有	- 無	負担金の有無		
	i												直営		1111-73	— 	7111	——————————————————————————————————————		
										業務内容及	び手	≦順)	] 3	【年度目	標】			内容(決算額)】		
		区公民館は		寺から さ	地区公民	館施設	整備に伴う	多繕	工事	事等の実施						修繕料		1,904千円		
		もかなり経 伴う使用上					と館樹木伐技 ネットフェン			事						委託料	ューススティスティスティスティスティスティスティスティスティスティスティスティスティ	1,190千円 825千円		
		工事等が			池野辺公	民館排	水管修繕										n 2 \ 5	020		
					等	等の修繕	・工事及び	委託	Eを3	実施する。										
							業計画						(計画				H29事業			
					地区公民 事等の実施		整備に伴う	修繕		・地区公民 事等の実施		設整	備に	半う修繕	工  ・地	区公民	民館施設	整備に伴う修繕		
							樹木の伐採	を年		尹守り天成	匹									
					十画で実施															
				-	寺崎公民	館エアコ	コン更新工具	事												
5	事彩	8事業の目	的と手段	<u> </u>														単位		
		対象									4		公民館	利用者	数			人		
目		っか きかける相	手・もの)	)	地区公民館利用者 対: 指:															
	(2)±	事務事業の意	意図(どの	ようにしょ	  用者が常に快適に地区公民館を利用できるよう								整備件	:数				件		
	たレ	vのか。どうV		-1 7-1.\ \T	川用者か吊 1、施設の掣	ぐさるより	成:	果												
	のカ	12)							指標 整備件数				: 米h			件				
手	31	目的を達成	するため	た実 4	h区从民館	の枚縒	L事等を実施	- <del></del>			0									
		こ行った行	政活動(	サービ	医区公氏路	の16階-	上尹守と 天加	496	) <sub>0</sub>		活動 ———— 指標 ———									
	ス)		±++-																	
1	_	事務事業の 及び指標の																		
77	<b>村</b>	事業費	21年49	単位	93年度	(宝績)	24年度(実	縖)	25年	王庶(宝績)	26年	E度(	実績)	97年度	(計画)	98年月	色(計画)	29年度(計画)		
			支出金	千円	20千尺	、ノマル貝ノ	11 下汉(大	小哭!	201		207	1 1 (	八川貝)	2· 十/文		20-T/5	~ (印閏)	四十八八日四/		
, Let			<u> </u>	千円																
投入	事	源地	<del>`四亚</del> 方債	千円																
コ	業典		<u>の他</u>	千円																
ス	費	н/ \		千円									3,919		1,939		1,939	1,939		
		事業費割		千円		0		0		0			3,919		1,939		1,939			
イ		職員割		人	1	0		0		0		_	450		0		0			
ン	Į.	時間		千円																
プッ	件件	嘱託臨時 千円																		
<u>۱</u>	費		世課の協力分 千円																	
$\smile$				450		0		0	0											
	トータルコスト(ア)+(イ) 千円			0		0		0			4,369		1,939		1,939					
		指標区分		単位	23年度	(実績)	24年度(実	績)	25 <sup>£</sup>	F度(実績)			27年度	(目標)	28年月		29年度(目標)			
江	整個			件									10		10		10			
活動																				
動指	j j																			
標																				

46,500

10

46,500

10

46,500

10

46,500

10

対 公民館利月 象 指 標 成 果 指標

公民館利用者数

人

件

	市民ニーズの把握	In the Translation									
	事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 地区住民が安全・快適に公民館施設を利用できる。										
【CHECK】事務事	業の一次評価										
					か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》						
安		図の妥当性《目	的(対象と意図)に	は総合計画と結び	ついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか						
性 適切である	5										
価 □ 見直しの分	≷地がある										
有 ④成果の波及	余地《成果は, 昨 効果《全市民, また				,更なる成果向上ができるか?》						
性	也がない										
価 □ 向上の余均	也がある										
為					)見直し,市民の協力など)》						
平	咸余地 《活動量を下	げずに人件費を	削減できないか?(	業務プロセスの見	直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》						
性	地がない										
価 □ 削減の余	地がある										
一次評価結果			全体総括(振り返り	), 反省点)							
必要性	適切 見直し	の余地がある									
有効性	適切 □ 見直し	の余地がある									
効率性  □	適切 □ 見直し	の余地がある									
【ACTION】事務事	業の改革・改善	フォロー	-アップ 前年度の	課題や問題点	その他						
①改革•改善案		③前年	度の改革・改善案		⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策						
					が有無さての対象 影響は大きく,問題の発生が予想される						
					代替案や対策を採ることで対応できる						
					⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)						
②改革・改善案を	実現する上で克服で	ta oran			他に手段がない						
べき課題と解決方		(4) 東組	状况 ————————————————————————————————————		他に手段がある(事務事業名・活動名)						
					名称 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる						
					他の事務事業や活動と机廃音や連携ができる統廃合や連携はできない・既に連携している						
【PLAN】事務事業	の計画										
11 12 11 11   尹幼 尹禾		エ目 <b>/二</b> 1	シナンリグ水を中		評価理由						
総合評価	今後の方向性 総合評価		`おり継続 								
	資源配分	現場	<b>注維持</b>								

実	施	計画•事涯	务事業	評価	<b>共通</b>	調書										記入日	7	平成2	7年3月27日
[PI	LAN	事務事業の	の計画		事務	事業番	:号	9							所	属部語	果名 教	育委員:	会 笠間公民館
	# 7/	中华力	AND THE A		_ `	フぃす	जार	評価	区分		務事業性		設·整例	事業		基本			所管省庁
	争移	等業名	笠間公	民館リニ		アル争	美	評価	事業		要事務事計画実施		<u> </u>			点視	東	市単独	Į.
終	政	政策	5 人が輝	き、豊かな	文化を創	創造•発信	言するまち	づくり〔教育	ぼ・文化〕		新規・継続		新規				独 区		
合	策		2 だれ	もが自ら学	どび,能	と 力を発	揮できる	環境をつ	くります	事	開始年		終了年				—— 分		2
計	体	施策	1 生涯		,					業期	H26		H30	)	共催	<b>岑•</b> 関	係団位	k	
	系			괓•設備等		用と充	三美			間					У (   Д.	1 1/41	иншт	'	
三		会計 一般会計	教育	書 計	<u>項</u> 会教i	<b>台</b> 書	分	<u>目</u> 民館費			細目名 ショニューアル	事業	関連計根拠法						
	<del>平</del> 斗	灰云印	4X F)	Į II.	五秋	月貝	Δ.	八四貝	177.16	122	17- 2 77-	7.		手法		補助金	金の有	「無	負担金の有無
E	1												直	営			_		_
		8事業の全												【年	度目標				内容(決算額)】
		公民館は建 8、老朽化1									大規模な 況確認調						委託料	<b></b>	1,944千円
		』、セイカして 修を計画的									売売 順位を でんしょう でんしょう かいしょう かいしょう かいしょ でんしょ かいしょ かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう								
<.	-				改修る	を計画	的に整	備してい	く。現し	時点~	では工事に	こ伴う事	業						
								ていない	ためH	27年	度以降の	事業費	は算						
						きない。 その現況		調査業務	委託を	字海	į.								
							H27事	業計画	J				事業計画					H29事業	*F!
					実施記	設計業	務委託	3		Ę	收修工事?	及び監	理業務	委託		改修	<b>下工事</b>	及び監理	里業務委託
																			N/ //-
nen												4	か 足	館利日	用者数				単位人
		対象 *} -   <del> </del>   -	エュか)		公民館	館利用す	者					対象		は日 小リノ	17日 奴				
目	(働きかける相手・もの)											指標							
的	   ②事務事業の意図(どのよう)   たいのか。どういう状態にした				地部の	ハギだり	レルル	改修工事	r			(E)		館利力	用者数				人
	のカ		ツ水態に	-U/LV'	地政り	ひ名作11	占に行う	以修工事	ř.			成果 指標							
												6	改修	工事					式
		目的を達成する			H26年	F度以降	<b>幹継続事</b>	業				活動							
	際( ス)	に行った行政	义活期(	サービ								指標							
		務事業の	実施																
_		及び指標の																	
		事業費		単位	2	3年度(	(実績)	24年度	(実績)	25年	度(実績)	26年月	度(実績	(i) 27	年度(記	十画)	28年月	度(計画)	29年度(計画)
			支出金	千円															
投		財県支	出金	千円															
入		源 地	<b>方債</b>	千円															
コ	業費	訳 その	り他	千円										1					
スト	,,,		財源	千円									1,94	4					
		事業費計	ト(ア)	千円			0		0		0		1,94	4		0		C	0
イ		職員害	合	人千	円		0		0		0	0.030	22	25		0		C	0
ンプ	Д	時間	外	千円		ļ.		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,											
ッツ	件	嘱託臨	時	千円										1					
1	費	他課の協	引分	千円	1														
$\smile$		人件費計	+(イ)	千円			0		0		0		22	25		0		C	0
	<u>١</u> —	タルコスト(ア		千円			0		0		0		2,16			0		C	0
		指標区分		単位		3年度	(実績)	24年度	(実績)	25年	度(実績)	26年月	度(実績	_	年度(目	標)	28年月	度(目標)	29年度(目標)
活	改作	<b>多工事</b>		式										1		1		1	
動														1					
動指														1					
標														$\top$					
対	公臣	民館利用者	数	人								1	56,67	'3	58	,000		58,000	58,000
象指													, -	+				,9	
指標														+					
成	小 に	民館利用者	数	人								1	56,67	'3	58	,000		58,000	58,000
果		AND 1.11.11.11	»^	7									50,01	+	00	,,,,,,,		50,000	50,000
指標														+					
悰								l		1				1					1

社会情勢の変化・市民ニーズの把握 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社:	<b>〜環境の変化(開始時期又は5年前と</b>	ひ比較)・市民からの音見や要望》
施設をリニューアルすることによって、市民の方々し		
【CHECK】事務事業の一次評価		
Xi		か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
安	《目的(対象と意図)は総合計画と結び	ついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか
性 ☑ 適切である		
□ 見直しの余地がある		
③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べて	「どうであったか?工夫をすることで今後	、更なる成果向上ができるか?》
有 効 の成果の波及効果《全市民, または多くの市民	そや他の施策への波及効果があるか? /	>
性 ☑ 向上の余地がない		
□ 向上の余地がある		
⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業		
<b>学</b>	費を削減できないか?(業務プロセスの見 	直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》
□ 削減の余地がない		
価 □ 削減の余地がある		
一次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)	
必要性		
有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある		
効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある		
【ACTION】事務事業の改革・改善フォ	ローアップ 前年度の課題や問題点	その他
①改革・改善案	「年度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策
		影響は大きく,問題の発生が予想される
		代替案や対策を採ることで対応できる
		使用する市民の安全が脅かされる。
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)
②改革・改善案を実現する上で克服する		他に手段がない
べき課題と解決方法	双組状況	他に手段がある(事務事業名・活動名)
		名称
		他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる 統廃合や連携はできない・既に連携している

TEM 事物事業が計画			
総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由
	資源配分	現状維持	